

株式会社CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(コード番号: 2315 東証スタンダード)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
Tel 03-5657-3000 (代表)

カイカエクスチェンジ、IEO実施検討に向けた3社間覚書締結 のお知らせ



当社子会社の株式会社カイカエクスチェンジ(暗号資産交換所 Zaif 運営会社/代表取締役社長:鈴木伸、以下「カイカエクスチェンジ」)は、株式会社スケブ(本社:東京都港区、代表取締役社長:喜田一成)及び株式会社スケブベンチャーズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:岩野裕一)とイニシャル・エクスチェンジ・オフアリング(IEO)実施検討に関する覚書を締結したことをお知らせいたします。

今後、受託販売契約を締結し、2022年9月頃の株式会社スケブベンチャーズによる Skeb Coin(スケブコイン)(仮称)発行による資金調達、暗号資産交換所 Zaif での取引開始を目指します。調達された資金は株式会社スケブが運営する Skeb の発展に活用される予定です。

〇イニシャル・エクスチェンジ・オフアリング(「IEO (Initial Exchange Offering)」)とは

企業・団体・プロジェクトなどがユーティリティトークンの発行を通じて資金調達をする仕組みのうち、暗号資産交換所がその発行体・プロジェクトへの審査を実施した上で、販売を行う方法のことです。イニシャル・コイン・オフアリング(ICO)と比較し、交換所という第三者の審査を通過する事で、信用性が高まるメリットがあります。

〇Skeb(スケブ)とは

国内外から日本のクリエイターに対して、イラストや音声、映像等を有償でリクエストすることができるコミッションサービスです。100以上の言語に対応した自動翻訳機能と越境決済機能によって、利用者の約30%が海外からとなっています。

6.8%~という業界最安値の手数料と最短即日入金報酬サイクルが特徴で、昨今の情勢の変化により、新たな収入源を求めるクリエイターの登録が急増し、登録者数約210万人、クリエイター登録者数約11万人、月間取引高4億円以上と2022年6月現在、国内最大級のコミッションサービスとなっています。※2022年6月3日 株式会社スケブ調べ

〇Skeb Coin(スケブコイン)(仮称)とは

全てのクリエイターにとって、最も重要な価値が「表現の自由」であることは、改めて言うまでもありません。

海外プラットフォームによる表現の規制が問題となっている昨今、2021年2月に大手クレジット会社から複数の出版社に対して、商品の表題に「〇〇殺人事件」等の特定の表現がある商品では、クレ

ジット決済が取り扱えなくなる旨の通知があった事実が発覚し、表現の規制について参議院議員により問題提起が行われました。

こうした中、新たな決済手段としてのブロックチェーンに注目したのが Skeb Coin です。既存の SNS 上でクリエイターへ投げ銭が可能となる新サービス（現在開発中）での利用や、Zaif Payment での決済可能資産に Skeb Coin を追加するなど、Skeb をはじめとした国内の EC サイトでの決済に利用できるユーティリティトークンとして Skeb Coin が発行される予定です。

今後、Skeb 利用者へのエアドロップの実施なども検討されており、IEO が実施された場合には、Zaif での売買も可能となります。

これからもお客さまにご満足いただけるよう、既存サービスの改善と共に新しいサービスの充実も目指してまいります。今後とも Zaif をどうぞよろしく願いいたします。

以上

会社名：株式会社スケブ

代表者：代表取締役社長 喜田 一成

所在地：東京都港区南青山五丁目 1 1 番 9 号

URL（サービスサイト）：<https://skeb.jp/>

URL（会社概要）：<https://skeb.jp/company>

会社名：株式会社スケブベンチャーズ

代表者：代表取締役社長 岩野 裕一

所在地：東京都港区南青山五丁目 1 1 番 9 号

会社名：株式会社カイカエクスチェンジ（暗号資産交換所 Zaif 運営）

代表者：代表取締役社長 鈴木 伸

所在地：東京都港区南青山五丁目 1 1 番 9 号

URL（サービスサイト）：<https://zaif.jp/>

URL（会社概要）：<https://corp.zaif.jp/outline/>